令和6(2024)年度 総合的な学習の時間(読書科)全体計画 江戸川区立江戸川小学校

名称:探究科

学校教育の目標

自他ともに認め合い、主体的に行動する人

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よ りよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身 に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理 解するよ うにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集 め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かし ながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

(教育課程特例校による区独自教科 読書科の目標) 読書における見方・考え方を働かせ、読書を通じた探究的な学習を通して、生 涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成する。

- (1) 読書から生きて働く知識を習得するとともに、資料の収集の仕方、記録の 取り方を身に付けることができるようにする。
- (2) 問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するととも に、自らの考えをまとめ・表現することができるようにする。
- 読書及び読書を通じた探究的な学習の良さを認識し、主体的に取り組む とともに、社会の中で積極的に学び続けていこうとする態度を養う

学校の総合的な学習の時間及び読書科の目標

- 読書科と総合的な学習を合わせて探究科として学習を行い、それぞれの見方・考え方働かせ、次の資質・能力を育成する。
- 読書における見方・考え方を働かせ、読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成する。 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

| ○ 休丸的な兄方・ちん力を側がせ、傾倒的・総合的な子音を引力ことを通して、よりよく誅題を解決し、自己の生き力を考えていべための負責・能力を自成する。 | | | | | | | | |
|--|---|------------------------------|---|------------------|--|------------------------------------|--|--|
| 育てようとする資質や能力及び態度 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 45 05 | 知識・技 | | | r AE | 57 | 0.77 | | |
| 1年 2年 | | 3年 | 4年 | | 5年 | 6年 | | |
| | | | 集の | 仕方や記録の取り方を身に付けるこ | | | | |
| | | | 地域の環境の現状や環境を保全 | | のよさと課題及びそれに携わる | 地域の未来像と自分たちの生活との | | |
| \ | | | する人々の工夫や努力が分かる。 | | の願いが分かる。 | 関わりが分かる。 | | |
| | 情報 る。 | を比較・分類するなど、探究の | 過程に応じた技能を身に付けてい | 情報 | を比較・分類・関連付けるなど、探究 | の過程に応じた技能を身に付けてい | | |
| 思考・判断・表現 | | | | | | | | |
| 1年 2年 | = | 3年 | 4年 | 124 | ル 5年 | 6年 | | |
| | | • | 」 **・ らの課題を設定し、解決方法を考え | 身近 | | 」 也域の人々等の思いをふまえて課題を | | |
| て追究したりし | | 发问《百万·V 及 外(成心》: | 30杯娘を以たり、肝ババルとった | | 定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって追究している。 | | | |
| | | 問に対して本や目的に応じた | 対象を決め、自分たちの身近なとこ | | 的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしてい | | | |
| ろから、情報を | | | 7,3,0,7,1,7,1,7,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1 | る。 | | | | |
| | | | 分析したり、問題状況における事実 | | | 実や関係と整理した情報を関連付けた | | |
| や関係を事象 | や関係を事象や分類したり数量などで客観的に比較することで特徴を見付けたりしてい り多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。 | | | | | | | |
| る。 | | | | - 0 | | | | |
| 自分の考えを | 也に伝え | ることができたり、相手に応じて | てわかりやすくまとめ表現したりしてい | | | きるようにしたり、相手や目的、意図に | | |
| <u>රු</u> | | | 구 나사기 ~ 뜻 75 1 ~ ㅠ | | 工夫してまとめ表現したりしている。 | | | |
| | - 1 | | 主体的に学習に取 | (り組 | | | | |
| 1年 2年 | | 3年 | 4年 | | 5年 | 6年 | | |
| | 読書の良さが分かり、進んで本を読もうとするとともに、自分が見付けた疑問について、主 読書の良さを実感し読書習慣を大切にしようとするとともに、自分が見付けた「 体的に学んでいこうとしている。 | | | | | | | |
| 体的に子んで | | くいる。 の解決に向け、目的意識をもっ | って音効的に取り組むでいる | | について他者と関わり合いながら主体的に学んでいこうとしている。 題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。 | | | |
| | | | | | | | | |
| 課題解決に向けて、身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んで はいる。 課題解決に向けて他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気がいる。 | | | | | | 1 男川 - 4人 グルロック、 しゃノノく シュロース・ロック・こ | | |
| | | のよさや自分にできることに気ぐ | | | 活動を通して、自分の生活を見直し | | | |
| | | | | | る意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでい | | | |
| 自分と社会とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとしている。 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。 | | | | | | | | |
| 内容 | 内 容 学習対象 | | | 学習内容 | | | | |
| 第1学年 | = | ・本の楽しさを知り、本への興味を高める | | | 自分で選んだ本を読み、読書の良 | さが分かり進んで本を読もうとする態度 | | |
| | + | ・本などから興味にあるものを調べまとめる方法を知る | | | 調べ学習に向けて探究の仕方 | | | |
| 第2学年 | = | ・いろいろなジャンルの本を読み、本への興味や関心を高める | | | 自分で選んだ本を読み、読書の良さが分かり進んで本を読もうとする態度 | | | |
| | + | ・本などから興味にあるものを調べまとめる方法を知る | | | 調べ学習に向けて探究の仕方 | | | |
| 第3学年 | Æ | ・すきなジャンルの本を読み、本への興味や関心を高める | | | 自分で選んだ本を読み、読書の良さが分かり進んで本を読もうとする態度 | | | |
| | + | ・地域のよさや歴史の発見とそれを継承するための取組 | | | 地域の歴史や文化のもつ特徴とそれらを継承し文化を継承する取組 | | | |

| 内容 | 学習対象 | 学習内容 |
|-----------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 第1学年 | ・本の楽しさを知り、本への興味を高める | 自分で選んだ本を読み、読書の良さが分かり進んで本を読もうとする態度 |
| お・子午 | ・本などから興味にあるものを調べまとめる方法を知る | 調べ学習に向けて探究の仕方 |
| 第2学年 | ・いろいろなジャンルの本を読み、本への興味や関心を高める | 自分で選んだ本を読み、読書の良さが分かり進んで本を読もうとする態度 |
| 第2子午 | ・本などから興味にあるものを調べまとめる方法を知る | 調べ学習に向けて探究の仕方 |
| 第3学年 | ・すきなジャンルの本を読み、本への興味や関心を高める | 自分で選んだ本を読み、読書の良さが分かり進んで本を読もうとする態度 |
| 第0子牛 | ・地域のよさや歴史の発見とそれを継承するための取組 | 地域の歴史や文化のもつ特徴とそれらを継承し文化を継承する取組 |
| 第4学年 | ・好きなジャンルの本を読み、本への興味や関心を高める | 自分で選んだ本を読み、読書の良さが分かり進んで本を読もうとする態度 |
| カヤチャ | ・地域社会の幸福と福祉に取り組む人々の努力 | 様々な福祉活動とそれらを充実させていくための人々の思いと取組 |
| 第5学年 | ・目的のある読書をしよう | 目的に応じた本を読み、読書の良さを実感し読書習慣を大切する態度 |
| 第0子牛 | ・世界が抱える問題の解決に向けた取組 | 持続可能な社会を実現するための取組と人々の思いと努力 |
| 第6学年 | ・目的のある読書をしよう | 目的に応じた本を読み、読書の良さを実感し読書習慣を大切する態度 |
| 寿○子平 | ・世界平和と私たちの役割 | 世界平和を実現するための日本の取組 |

学習活動 指導方法 学習の評価 指導体制 全学年、毎週火・木曜日に各20分程度 探究学習に必要な指導方法に係る ポートフォリオ等を活用した評価を実 読書科との関連を図りながら、総合 の読書活動を設定する。 的な学習の時間と併せて探究学習の 研修を充実させる。 施する。 充実を図る。 第1・2学年は身近な自然、第3学年は 地域人材等を活用した特別授業や 協働的な学習活動を充実させ、問題 体験学習を取り入れ、サポーターズク 地域、第4学年は福祉と健康、第5学年 観点別学習状況を把握するための評 ラブを効果的に運用する。 は環境、第6学年は国際理解を主な や課題を解決していく学習を通して活 価規準を設定する。 用する力を育成する。 テーマとする。 各学年で取り上げるな内容と各教科等と 文献資料等の活用や様々な調査方 巡回司書を活用した公立図書館等と 指導と評価の一体化を充実させると の関連を図りながら、指導計画に位置付 法やまとめの仕方の学習を充実させ の連携や学校図書館の充実を図る。 ともに、個人内評価を重視する。 けて学習活動を展開する。 各学年とも、発表方法を工夫し成果を 言語活動や体験学習の充実、読解 学校関係者評価委員会における評 校内LAN等のICTを活用し指導方法や内 発表する機会を設ける。 力の向上を重視し、各教科等の関連 容について情報共有を行い、指導効果 価を実施する。 を図りながら指導する。 を発揮できる体制を強化する。